

今年一年の大漁を祈願して初おこしが旧暦1月2日にあたる2月15日、港川漁港のセリ市場で行われ、漁師をはじめ組合関係者や町議会議員の方々が出席しました。

樋岡邦彦組合長からは「昨年は組合員にとって悲しいお知らせもありましたが、漁師が漁に出るときは必ず無事家族のもとに帰ってくるという気持ちを強く持ってもらいたい」とあいさつ。比屋根方次町長からは「港川のセリ市は活気がみなぎっている。今年も健康と安全を第一にすべてのことに豊年満作と港川の発展をお祈りしたい」と激励しました。組合員青年部の上原臣敏（ミトシ）さんからは「これからも町との関係を大切にしながら組合員の団結を強くし、航海安全と大漁を願って頑張っていきましょう」と乾杯の音頭がとられました。

大漁を願って初おこし



県リコーダーコンテストで具志頭小学校が金賞受賞

第29回沖縄県リコーダーコンテストにおいて具志頭小学校音楽部が合奏の部で金賞を受賞しました。2月24日には渡喜喜庸清校長と顧問の比嘉喬子先生、児童らが比屋根方次町長に報告も兼ねて訪問しました。同学校の音楽部は沖縄県の代表として全国大会に出場することが決まっています。禰覇りこさんは「県大会では緊張したけど楽しく演奏ができました。全国大会では観に来る人に感動してもらえようかな演奏がしたい」と話しました。



南部商業高校に通う3年生の大城亜沙美さんが全国商業高等学校協会主催の5種類の検定試験でそれぞれ1級を取得しました。1級の合格率は種目により異なりますが、1割から3割程度と難関。それだけに大城さんも達成できたことに「努力してきた甲斐があった」と満足げに話しました。また、「放課後や休日に課外授業を設けてくれた先生たちも勉強の大きな支えになってくれた」と感謝の言葉も。大学の進学も決まっています。「今ある資格を活かしてIT関係の分野に進みたい」と5冠達成とともに期待に胸を膨らませています。指導にあたった宮城和正先生も「部活との両立も大変だったと思うがこの資格の取得が将来にプラスになってくれる」と大城さんの努力を称えました。

5冠達成、期待に胸を膨らませる

2月6日、7日、奥武山公園で開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2010」の中で「沖縄県農林漁業賞」の授与式が行われました。地域農林漁業の発展に貢献した団体・個人に贈られるもので、農産部門で芋の生産に取り組んでいる「ぐしちゃんいも生産組合」が表彰を受けました。同組合は組織的に芋の栽培に取り組み、芋焼酎を町内のヘリオス酒造と協力して開発するなどこれまでの活動が高く評価されました。安里美津男組合長は「芋ゾウムシの駆除を図り、芋の生産を高めていくことが今後の課題。大きな問題だが、今回の受賞を契機に組合員とともにがんばって取り組んでいきたい」と力強く話しました。同組合で定期的に行っている栽培講習会でも3月にスローガンを作成し、組合員の意識向上に積極的に取り組んでいます。

ぐしちゃんいも生産組合が沖縄県農林漁業賞を受賞



第5回公民館まつりが開催されました

「趣味を生かし心のやすらぎを求めるサークル活動」をテーマに第5回公民館まつりが3月7日、8日の2日間、八重瀬町中央公民館で開催され、両日合わせ約500人の観客が来館しました。当まつりは、公民館で活動するサークル団体が日頃の学習で得た成果を発表する場として毎年開催。両日にわたり展示発表があり、和紙ちぎり絵、水墨画、書道など各サークル団体の自慢の作品が並べられました。今年も国際読書年にあたることから親子そろって読書に親しんでもらいたいと大型絵本の読み聞かせがありました。その他にも実際の織り機を使用した「さをり織り」や漆喰シーサー作りの体験コーナーが設けられたり、生活研究会の「おくらそば」の販売、町花マリーゴールドの無料配布などたくさん催しが用意され、来館者を大いに楽しませました。8日には、約20団体から三線や琴、琉球舞踊など舞台発表があり、日頃磨きあげた成果を披露しました。



伊覇地区にあるタウンプラザかねひで東風平店前の交差点に待望の信号機が新設されるにあたり信号機点灯式が2月18日行われました。糸満警察署関係者や伊覇区民、役場関係者、シーサー保育園の園児たちなど約80人が参加しました。式典の中で比屋根方次町長は「信号機が設置されることで安全安心なまちづくりを更に進めることができるとあいさつ。また、比屋根登伊覇区長からは「交通量、歩行者も多いこの地区では一日も早い信号機の設置が望まれていた。多くの関係者のおかげで信号機が設置され事故がなくなってくれと思う」とあいさつがありました。

伊覇地区に待望の信号機が設置されました



第55回全九州学校図書館コンクールにおいて新城小学校が優秀賞を受賞しました。3月2日に真玉橋初子校長と図書館司書の真座考乃さんが比屋根方次町長を表敬訪問。受賞を報告しました。新城小学校では毎週火曜日に読み聞かせボランティアや先生方が各学級で読み聞かせを行ったり、いろいろな本を紹介するブックトークなどを行い児童たちに図書に興味を持ってもらえるように積極的に取り組んでいます。比屋根町長からは「地域のボランティアや図書館司書、職員の方々が一丸となっていることが認められてうれしい。他の学校の見本としてこれからも継続して読書の推進を図ってほしい」と激励しました。

新城小学校が図書コンクールで優秀賞



左から真座さん、真玉橋校長、比屋根町長